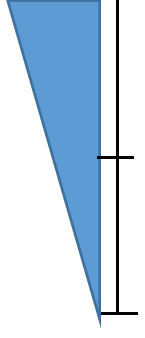
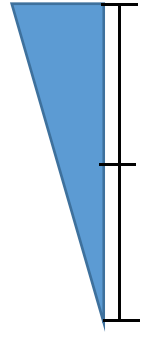
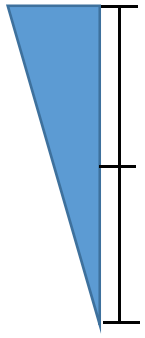
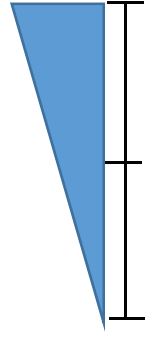
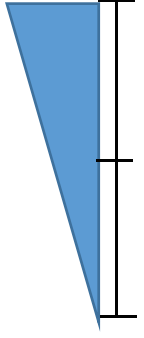
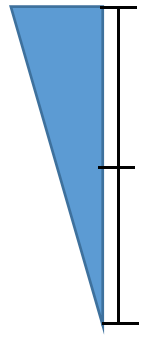
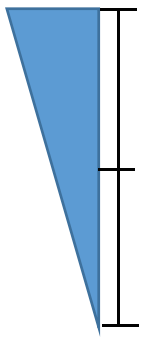
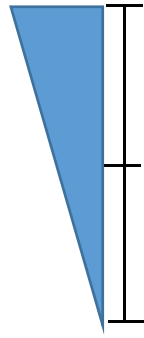
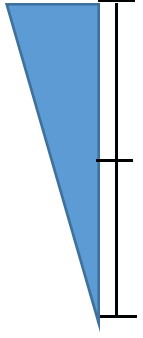
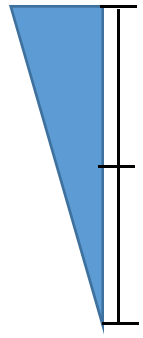
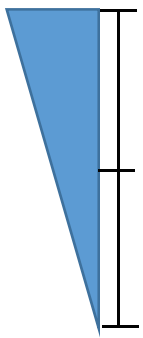
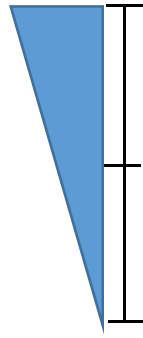
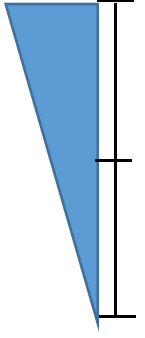
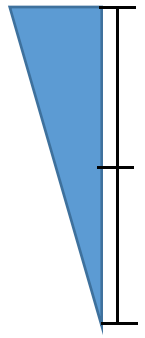
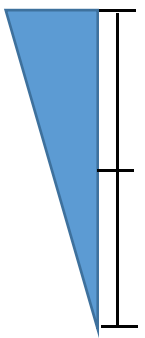
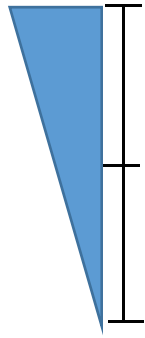
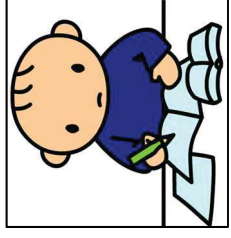
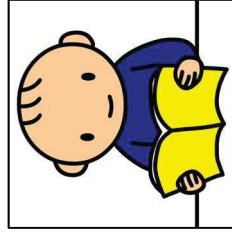
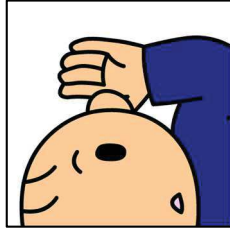
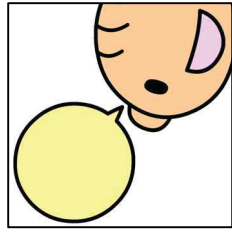


watashino kotoba  
わたしのことは

nihongo  
にほんご

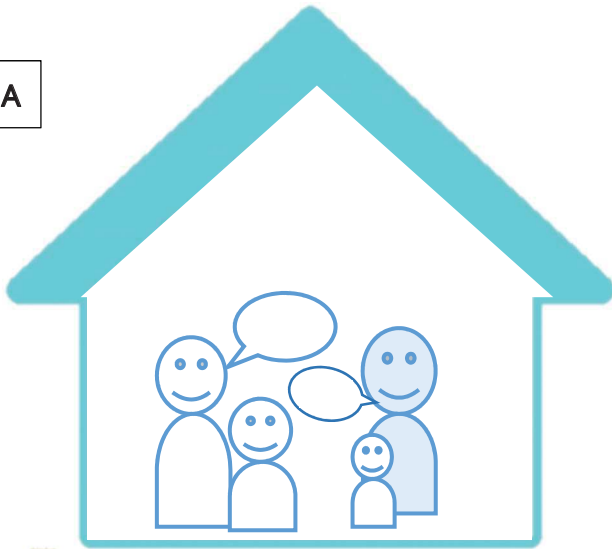


## U2-1 わたしのことば

### —話す・聞く・読む・書く—

目的	母語、日本語その他の言語について、学習者（+ボランティア）の使い方や使える程度について話し、必要に応じてそれを書き留める。
イラストについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストは上から「話す」「聞く」「読む」「書く」に対応する。</li> <li>・右側の直角三角形はそれぞれの力の程度を示す。</li> <li>・「わたしのことば」と「にほんご」の間の列は、英語、広東語等、学習者が母語以外で知っている言語について書くときに利用する。</li> </ul>
使い方	学習者の母語、日本語、その他外国語について話をしながら、＜できない・少し・まあまあ・できる＞程度の粗い区分で、イラスト横の三角形に印をつける。評価は自己申告で可。学習者の戸惑いが強ければ中止。
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらかじめボランティア自身の状況を書いてみてから、この話題を学習者とどう展開していくか考えることが大切。一方的な聞き取りにならないように注意する。</li> <li>・「にほんご」の欄は、後日、再度提示してみて、進歩を記入できれば、学習の励みになる。</li> </ul>

A

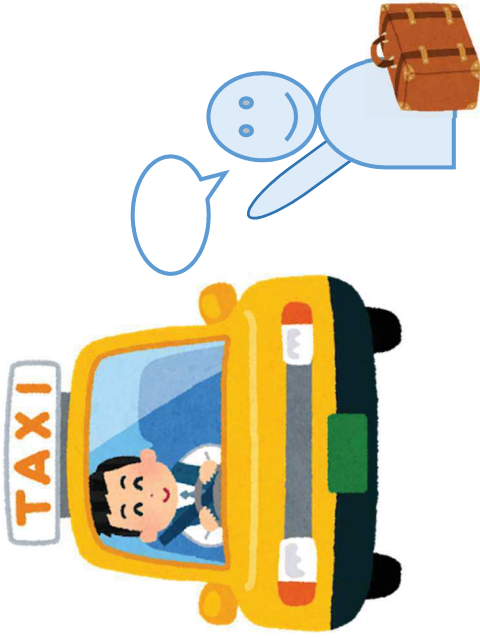


B

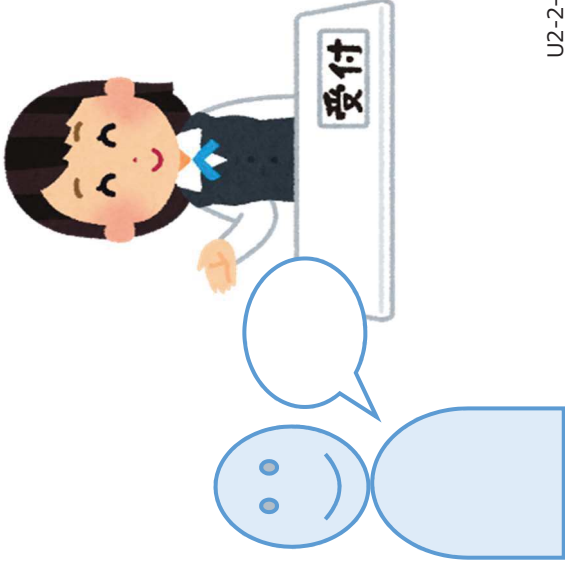


C





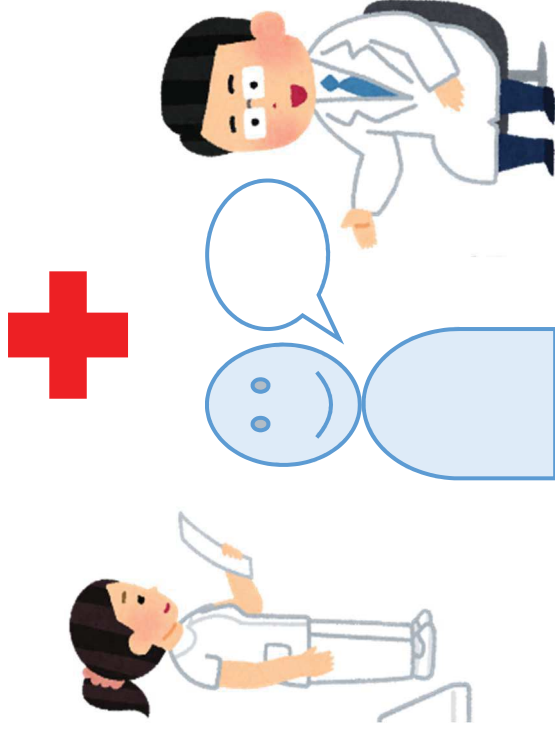
U2-2-1



U2-2-2



U2-2-3



U2-2-4

## U2-2 だれとどのことば？

目的	学習者が複数の言語をどう使い分けているかについて話をする。
イラストについて	<p><b>A</b> 家庭内の言語を、家の形とそこ中の家族で表現。</p> <p><b>B</b> 家の外での言語を、街を背景にして話をする様子で表現。 家の外での言語は、別途4つの場面を取り上げた補助カードがある。</p> <p><b>C</b> 母国の人（または海外の友だち全般）と使う言語を国際電話の情景で表現。</p>
使い方	カードを示して、「何語？日本語？」と尋ねる。答を聞いたら、ボランティアは深くうなずいたり、ほめたり、驚いたりして、学習者に気持ちが伝わるような反応で対応してほしい。
備考	初対面の相手と使うよりは、少し心が通うようになってからの使用がお勧め。子育て中の母親向きにU2-3「おかあさんのことば」を用意している。

### ○補助カード

学習者とコミュニケーションをするときに、伝えたい状況やことばを日本語だけで伝えるのが難しい場合のコミュニケーション支援ツール（目で見ることば）として活用してください。

（印刷して切り離し、カード型にして使用）

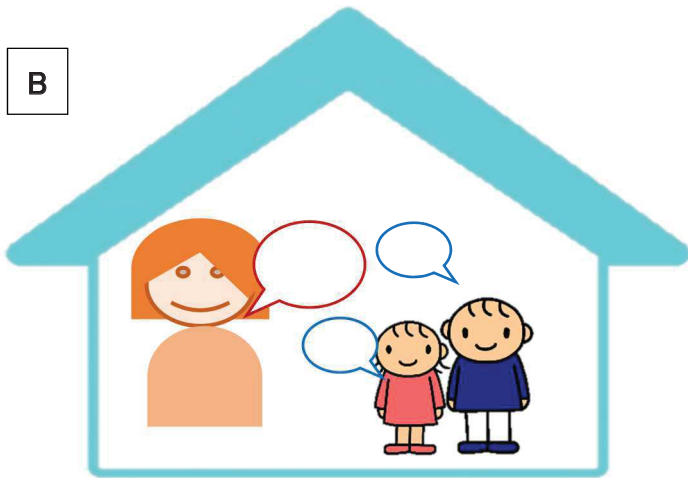
カードNo	タイトル	備考
U2-2-1	タクシー利用	行先等の伝え方（口頭に限らない）
U2-2-2	窓口	役所、銀行、各種施設など
U2-2-3	買い物	話をした経験の有無など
U2-2-4	病院	受診経験に関係なく使用



A



B



C



## U2-3 おかあさんのことば

目的	子育て中の言語を話題にする。
イラストについて	<p>子育て中の女性専用シート。左上にある顔は「おかあさん」。場面は上から順に。</p> <p><b>A</b> 家庭内夫婦間のやりとり。</p> <p><b>B</b> 家庭内母子のやりとり。(兄弟でも年齢によって話す言葉が変わることもある。)</p> <p><b>C</b> 幼稚園(保育園)を背景にママ友との会話場面。</p>
使い方	「だんなさんとは何語を使いますか」「お子さん(〇〇ちゃん)とは?」「お迎えのとき、よそのママにあったら、おしゃべりしますか?あいさつだけ?」などと使用言語の種類を尋ねる。
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家の中では夫婦の出身地の言葉(方言)を使っているとしても、家の外では標準語を用いるなど、ボランティアの家庭でも言語の使い分けをしていることを思い出したい。</li> <li>・U2-2「だれとどのことば」は母親に限定しないシート。</li> </ul>